



平成30年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月7日

上場会社名 株式会社 ワキタ

上場取引所 東

コード番号 8125 URL <http://www.wakita.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇田貞二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小田俊夫

TEL 06-6449-1901

四半期報告書提出予定日 平成29年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第1四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第1四半期	15,798	6.2	1,571	3.1	1,590	5.1	1,070	73.8
29年2月期第1四半期	14,882	3.2	1,622	31.8	1,675	30.8	616	59.5

(注) 包括利益 30年2月期第1四半期 1,164百万円 (61.0%) 29年2月期第1四半期 722百万円 (56.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第1四半期	20.59	
29年2月期第1四半期	11.85	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第1四半期	112,670	87,500	77.7
29年2月期	113,654	87,896	77.3

(参考) 自己資本 30年2月期第1四半期 87,500百万円 29年2月期 87,896百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		0.00		30.00	30.00
30年2月期					
30年2月期(予想)		0.00		30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,500	5.8	3,200	2.7	3,200	1.6	2,200	38.9	42.30
通期	64,500	4.2	6,800	3.4	6,900	3.0	4,700	26.4	90.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期1Q	52,021,297 株	29年2月期	52,021,297 株
期末自己株式数	30年2月期1Q	17,126 株	29年2月期	16,854 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期1Q	52,004,284 株	29年2月期1Q	52,004,729 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年3月1日～平成29年5月31日)におけるわが国経済は、政府による継続的な経済・金融政策等の効果もあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。海外では中国や新興国の経済減速懸念や欧米の政治リスク等の不安材料もあり、先行きは依然不透明な状況が続いております。

こうした中、当社グループを取り巻く環境におきましては、首都圏における東京五輪に向けたインフラ再整備を中心に一部で明るい兆しが見え始めましたものの、全国的には公共投資減少等の影響により、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

こうした状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は、157億98百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益は15億71百万円(前年同期比3.1%減)、経常利益は15億90百万円(前年同期比5.1%減)、そして親会社株主に帰属する四半期純利益は、10億70百万円(前年同期比73.8%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 建機事業

建機事業の販売部門では、同業者間での受注競争の激化や貸与資産の売却の減少、賃貸部門においても市況の悪化に伴う稼働率の低下や単価の下落、過去の設備投資に係る原価の高止まりの影響を受け、当該事業全体としても厳しい状況が続きました。

その結果、建機事業全体の売上高は、101億56百万円(前年同期比12.0%増)、セグメント利益は、10億47百万円(前年同期比4.4%減)となりました。

② 商事事業

商事事業では、遊戯設備の受注が減少したことにとともに、当該事業全体の売上高・利益ともに減収減益となりました。

その結果、商事事業全体の売上高は、44億55百万円(前年同期比7.7%減)、セグメント利益は、1億59百万円(前年同期比18.5%減)となりました。

③ 不動産事業

不動産事業では、賃貸部門の売上高・利益ともに順調に推移いたしました。また、販売部門は宅地分譲の販売が業績に寄与し、当該事業全体では増収増益となりました。

その結果、不動産事業全体の売上高は、11億87百万円(前年同期比20.5%増)、セグメント利益は、3億64百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ9億83百万円減少し、1,126億70百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加6億90百万円、有価証券の減少17億13百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億86百万円減少し、251億70百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少5億97百万円などによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億96百万円減少し、875億0百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少4億89百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は77.7%、1株当たり純資産額は1,682円56銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の連結業績予想につきましては、平成29年4月7日の決算発表時に公表いたしました数値と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,163	25,854
受取手形及び売掛金	23,934	24,420
有価証券	4,648	2,935
商品	1,337	1,217
貯蔵品	53	47
その他	450	453
貸倒引当金	△107	△129
流動資産合計	55,481	54,798
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	6,084	5,862
賃貸不動産(純額)	36,624	36,490
土地	5,856	5,856
その他(純額)	2,776	2,756
有形固定資産合計	51,342	50,966
無形固定資産		
のれん	816	783
その他	268	253
無形固定資産合計	1,084	1,037
投資その他の資産		
投資有価証券	4,239	4,379
退職給付に係る資産	316	320
その他	1,404	1,391
貸倒引当金	△216	△223
投資その他の資産合計	5,745	5,867
固定資産合計	58,172	57,872
資産合計	113,654	112,670
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,475	9,877
1年内返済予定の長期借入金	136	136
未払法人税等	384	636
賞与引当金	161	333
その他	5,461	5,290
流動負債合計	16,619	16,274
固定負債		
長期借入金	79	45
役員退職慰労引当金	328	330
債務保証損失引当金	81	81
退職給付に係る負債	76	79
その他	8,571	8,359
固定負債合計	9,137	8,896
負債合計	25,757	25,170

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,821	13,821
資本剰余金	16,627	16,627
利益剰余金	58,332	57,842
自己株式	△18	△18
株主資本合計	88,762	88,272
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,002	1,098
土地再評価差額金	△1,914	△1,914
退職給付に係る調整累計額	45	42
その他の包括利益累計額合計	△866	△772
純資産合計	87,896	87,500
負債純資産合計	113,654	112,670

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
売上高	14,882	15,798
売上原価	11,562	12,414
割賦販売未実現利益繰入額	142	135
割賦販売未実現利益戻入額	197	117
売上総利益	3,375	3,366
販売費及び一般管理費	1,753	1,794
営業利益	1,622	1,571
営業外収益		
受取利息	18	6
受取配当金	5	4
仕入割引	7	8
為替差益	3	0
投資事業組合運用益	7	10
保険解約返戻金	22	-
その他	12	8
営業外収益合計	78	39
営業外費用		
支払利息	24	19
その他	0	0
営業外費用合計	24	20
経常利益	1,675	1,590
特別利益		
固定資産売却益	0	-
投資有価証券売却益	0	6
抱合せ株式消滅差益	59	-
特別利益合計	60	6
特別損失		
固定資産除却損	0	1
役員退職慰労金	745	-
特別損失合計	745	1
税金等調整前四半期純利益	990	1,595
法人税、住民税及び事業税	141	575
法人税等調整額	232	△50
法人税等合計	374	525
四半期純利益	616	1,070
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	616	1,070

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益	616	1,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82	96
土地再評価差額金	28	-
退職給付に係る調整額	△3	△2
その他の包括利益合計	106	93
四半期包括利益	722	1,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	722	1,164
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建機事業	商事事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,068	4,829	985	14,882	—	14,882
セグメント間の内部 売上高又は振替高	54	1	—	56	△56	—
計	9,122	4,831	985	14,939	△56	14,882
セグメント利益	1,095	196	331	1,622	△0	1,622

(注) 1 セグメント利益の調整額△0百万円は、棚卸資産の調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

建機事業セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間より、有限会社リフテックの株式を取得し、同社及び同社子会社の八洲商会株式会社を連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの発生額は914百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建機事業	商事事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,156	4,455	1,187	15,798	—	15,798
セグメント間の内部 売上高又は振替高	75	1	—	77	△77	—
計	10,232	4,456	1,187	15,876	△77	15,798
セグメント利益	1,047	159	364	1,571	△0	1,571

(注) 1 セグメント利益の調整額△0百万円は、棚卸資産の調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。